

月寒九条の会

会報

2014年4月
No.4

月寒九条の会では、第4回例会を「豊平・清田区教職員九条の会」との共催で2月15日(土)、東月寒地区センターで開催しました。

第1部では、現職の先生から、学校の現状を語って頂きました。第2部では、「安倍政権の『戦争する国』づくりの狙いと矛盾」と題して、たかさき法律事務所の高橋健太弁護士より、講演をいただきました。その概要と、参加者の感想をお知らせします

どんどん進められる

改悪された教育基本法

第1部

旧教育基本法では「不当な支配に屈することなく」と教育の独立性を求めていたものが、平成18年に改悪された教育基本法では、教育の目標として「道徳心、自立の精神、公共の精神、郷土を愛する」など20項目がうたわれており、教員の使命はこれをはたすこととされ、教育の管理、統制がどんどん進められてい

ゆとりのない学校現場

先生は休めない

「ゆとり教育」の見直しで、小学校1年生も入学してすぐに5時間授業があり、学習内容が増加している。先生は普

通8時15分に登校しますが、3時頃に、こどもたちが下校するまで、休憩時間がとれません。これに加え、近年は教

員管理も、教員免許更新新制度が導入されるとともに、4段階での評価がなされ、それにより給与に差が付けられています。しかし、給与が増えるのは一つの学校でも数人程度に限られ、しかも評価の低い先生方から削った給与でそれをまかなっているという実態です。

連絡先：野口 (852-9360)
加藤 (852-2346)
e-mail:tsukisamu9@yahoo.co.jp
http://www.geocities.jp/tsukisamu9/

育委員会から来るものや学校独自のものなど膨大な調査物があります。先生方は、授業や会議の間の少しの時

間でも、必ず何かをやっています。さらに、北海道は学力で全国平均を上回る目標を掲げ、道教委は各学校から学力向上のためのプランを提出させており、この取り組みもしなければなりません。個々の取り組みは良いのですが、あれもこれもと積み重なれば時

間はありません。何よりも一番残念なことは、こうした業務に時間をとられ、本業である子どもとの関わりがもてないことです。

集団的自衛権容認は改憲クーデター

第2部

本来、厳格な憲法改正手続きを経て9条を改定しなければ、集団的自衛権の行使は認められない。解釈の変更だけで集団的自衛権を容認するのは改憲クーデターである。

悩みのある子どもや、学力におくれのある子どもなどに関わって援助をしてやりたいのに、それが出来ないことが残念です。

日本の憲法改正手続きは、諸外国の連続性と比べ決して厳しすぎるものではない。本当に改正が必要なら手続きが厳しくて

も改正できるはずである。昨年5月の朝日新聞の世論調査では、憲法9条については、変えたほうが良いとする回答は30%に対し変えない方が良いとする回答は55%と高い。この傾向は7年前でも同じで、国民は憲法9条の改定を望んでいない。

<参加者の感想>

- 1)教育現場の話、興味がありました。先生方もおかしいと感じていても現実の教育現場でやっていかなければならない大変な立場にあることがわかりました。
- 2)今の先生方の厳しい勤務実態が結果的に子どもたちに影響を与えていることを知り、同情とともに、教育の危機を感じました。
- 3)「詰め込み」からゆとりへ、そしてまた「詰め込み」教育に先祖返りして、学校が荒れることを心配します。
- 4)教育の話は時間が短かった。学校現場の報告をもっと聞きたかった。これからも、教育現場の実態と教育改革についての意見交換を。

も改正できるはずである。昨年5月の朝日新聞の世論調査では、憲法9条については、変えたほうが良いとする回答は30



講演する高橋弁護士



秘密保護法、恣意的な運用される危険性

秘密保護法について安倍首相は「一般の方には関係ない」と言っているが、法律を作る人と、運用する人は違う。あいまいな条文で、恣意的な運用のおそれは十分にある。権太や根室の海軍施設の情報をもたらしたとして処罰された

共謀罪の制定も

集団的自衛権、秘密保護法、靖国参拝と安倍首相は突き進んでい

宮沢・レーン事件では、誰でも知っていたことが処罰の対象となり、恣意的な運用がなされたことは明らか。

議席数と高い支持率を濫用して、自分たちの政治運営をしやすいようにすること、戦争のできる軍隊を持つことをねらっている。秘密保護法は成立したが、過去には、法案は成立してもその適用をゆるさなかったり、法の運用を厳密に制限させたりした事例はある。秘密保護法阻止の運動が必要。

さらに、相談の場にいただけで、話しただけで逮捕できる共謀罪の制定も、秘密保護法とセットで検討されている。これも阻止しなければ

ならない。

安倍政権は若い人の歴史認識を変えさせ、過去の侵略戦争の反省をさせないようにしようとしている。ドイツのヴァイツゼッカー元大統領の「過去に目を閉ざす者は、未来に対してもやはり盲目となる」との言葉を肝に銘じなければならぬ。

圧倒的多数が戦争支持、教育の恐ろしさ

2月11日道内の宗教者や学者、労組などによる紀元節復活反対道民集会が開催され、小樽商大の荻野富士夫教授が、当時の国民、学生の思想状況の調査事例をもとに講演を行いました。その一例をお知らせします。

日本はアジアへの侵略戦争を「大東亜新秩序の建設」のためと合理化します。真珠湾攻撃で日本中が沸き立っていた頃、茨城県での中等学校生(9千人)を対象とした思想調査では、「東亜新秩序の建設」について聞いています。

①このことがうまく行くかどうか不安に思っています・・・0・6%

<参加者の感想>

- 1) 憲法の話は何度聞いても難しいですが、良かった。これからは平和についての話が聞きたい。
- 2) 解釈によって集団的自衛権を認めさせようとする安倍政権の主張内容が十分理解できない。
- 3) 講演わかりやすく理解できました。将来の日本が不安、心配になります。
- 4) 話を聞くだけでなく、安倍首相に抗議のFAXを送るとか署名を行うとか、行動を起こすことも必要でないか。

⑤ 1%
他の国々など、に遠慮なく、もつとど

- ②このわけが良くわかりません・・・0・5%
- ③このことのために戦争など長く続けてはこまるから早くやめると良い・・・1・5%
- ④どんなことがあってもこの目的が達するまでは頑張りなくてはならない・・・78・%

ほとんどやつて国威を輝かす方が良い・・・18・9%
実に97%の生徒が、時の政府の言うままになっており、これに疑問をいだくいわゆる「不良思想」の持ち主は3%にも満たなかった。
治安維持法による表現の自由の弾圧と、戦争を支持する教育を義務教育段階から徹底した結果です。

第5回例会のお知らせ

<子育て、教育懇談会>

かしこくすこやかな子どもの成長を願って (仮題)

日時: 5月10日(土) 13時30分から16時まで

場所: 東月寒地区センター (月寒東3-18)

話題提供 (予定):

- 1) 学校の先生から
- 2) 北海道自由が丘学園月寒スクールから
- 3) 学童保育から

懇談: 話題提供者を含め、参加者との意見交換を行います。

詳細は、後日お知らせします。